

平成24年度 循環型社会形成推進地域計画 改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
湘南東地域	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	平成19～23年度	平成19～23年度

1 目標の達成状況

平成24年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書において、目標を達成できていない事項は、下表のとおりです。

	現状	目標 (A)	実績 (B)	B/A
(1) 排出量 事業系総排出量	47,904	27,494	48,531	176.5%
(2) 再生利用量 総資源化量	61,349	78,497	66,435	84.6%
(3) 最終処分量 埋立最終処分量	14,272	9,438	10,290	109.0%

2 要因の分析

(1) 排出量 事業系総排出量

事業系廃棄物の排出量については、大規模開発による大型店舗等の開業と事業系食品残渣を資源化する民間施設の廃業等が主な原因と考えられる。

(2) 再生利用量 総資源化量

家庭系排出量が減ったことにより、総資源化量が減ったと考えられる。

(3) 最終処分量 埋立最終処分量

事業系一般廃棄物の搬出量が増加したことが第一の要因である。また、構成市町のうち一部では焼却残渣の資源化が計画どおりに進まなかったことも要因と考えられる。

3 改善計画

(1) 排出量 事業系総排出量

事業系総排出量及び1事業所当たりの排出量の削減のため、多量排出事業者に対し、排出実態調査を実施し、分別、減量、資源化の指導を引き続き行う。

(2) 再生利用量 総資源化量

分別の徹底が図れるよう、ごみの出し方のパンフレット等により市町民へ啓発を行う。また、分別資源対象品目を増やし、総資源化量の向上に努める。

(3) 最終処分量 埋立最終処分量

(1) 及び (2) の計画を推進するとともに、焼却残渣の資源化を進める。

(都道府県知事の所見)

計画期間内において、抑制に努めるはずであった事業系一般廃棄物が増加し、目標を達成できなかった点については、現状の把握等を含め、多量排出事業者への指導等による排出量の抑制に努められたい。また、住民への啓発等により分別収集を促進し、計画に沿った総資源化量の向上及び埋立処分量の削減を図るべく努められたい。